

## 事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る	事業群主管所属・課(室)長名	福祉保健部 長寿社会課	尾崎 正英
施策名	8 いつまでも健康で生涯を通じて学び、活躍できる社会の実現	事業群関係課(室)	雇用労働政策課	
事業群名	① 高齢者の元気で生きがいのある暮らしと社会参加の促進	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額 132,874	

### 1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)								
平均寿命が大幅に伸びる中、元気な高齢者の方が増えてきていますが、今後も生き生きと暮らし続け健康寿命を延伸させることができるよう、本人の希望やライフスタイルに合った就業や社会参加の機会の拡大を図っていきます。		i) 高齢者が気軽に相談できる窓口を設置し、経験やライフスタイルに応じた社会参加に関する相談支援を実施 ii) ボランティア活動等で活躍する高齢者の表彰や生活支援等の有償ボランティアの推進 iii) 市町を中心に、関係団体とのマッチングにより高齢者を社会参加につなげる仕組みづくり								
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	進捗状況の分析	
	社会参加などについて幅広く相談できるワンストップ窓口を通じて社会参加につなげた件数	目標値①	520件	540件	560件	580件	600件	600件(R7)		新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者の社会参加の機運を醸成するためのセミナー開催が、計画を下回るとともに、3密を回避するため、会場規模に対して、定員を絞ったことなどから、セミナー参加者が321人とどまったことや、高齢者がコロナを恐れ、外出を自粛したことなどが原因で目標を大幅に下回った。 しかしながら、ワンストップ窓口に対するR3年度の相談件数は、同じくコロナの影響があったR2年度の565件に対し、約2倍の1,170件と回復傾向にあるため、今後は、コロナと共存しながら事業を進めていく必要がある。 また、R3年度から3市において、就労的活動支援コーディネーターが配置されるなど、より高齢者の身近な場所で相談できる体制が整いつつあるため、引き続き、市町とも連携して事業を進めていく。
		実績値②	464件(H30)	157件						
達成率②/①		30%						遅れ		

### 2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和3年度事業の成果等				
				R2実績	うち一般財源	人件費(参考)		R2目標	R2実績	達成率					
				R3実績								R3目標	R3実績		
取組項目 iii	○	1	生涯現役促進支援事業	事業実施の根拠法令等			令和3年度事業の実施状況(令和4年度新規・補正事業は事業内容)	【活動指標】	24	6	25%	●事業の成果 ・令和3年度も前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で、ミニセミナー開催は計画を下回ったものの、16回開催し321名の参加者を得ることができた。また、相談窓口には延べ1,170件の相談があり、登録いただいた157人に対して継続的な個別支援を行うことができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・セミナー開催による啓発や意識の醸成を行うとともに、高齢者のワンストップ相談窓口を設置、運営することで、元気な高齢者が自らの知識や経験などを活かした社会参加に寄与した。			
				11,699	0	7,824							R4計画	R4目標	R4実績
				15,916	0	7,790									
			22,059	0	7,681										
			事業実施の根拠法令等			法令による事業実施の義務付け							県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)	【成果指標】
R2-	—					【成果指標】	341	157	46%						
長寿社会課	—				県内の社会参加意欲のある元気な高齢者	ワンストップ相談窓口での登録者数(人)	375								

取組項目 ii	○	2	元気高齢者の活躍促進事業	15,595	9,380	3,915	地域貢献活動に積極的に取り組んでいる高齢者団体の表彰、地域活動を牽引していく人材の育成、高齢者の活躍の場の情報収集や高齢者団体等への社会参加・活動の呼びかけ・提案など地域課題の解決に高齢者の力を活かすため取組を一体的に実施した。	【活動指標】 啓発・表彰事業等の参加者数(人)	500	41	8%	●事業の成果 ・高齢者の社会参加への機運を醸成するための主要事業である「いきいきフォーラム」については、新型コロナウイルスの影響により、オンラインに変更して実施し、活動指標の目標値は達成できなかったが、参加された方の社会参加への意欲向上は一定図られた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・フォーラムでの講演や座談会の配信を通して、高齢者の社会参加への意欲向上に寄与した。
				11,643	6,713	3,895			300	120	40%	
				16,261	8,086	3,841			300			
			H30-									
			長崎県地域医療介護総合確保基金事業補助金実施要綱 長崎県元気高齢者の活躍促進事業(人材育成事業)実施要領					【成果指標】	80	63	78%	
			長寿社会課	—	—	—	県内の元気な高齢者	社会参加の意欲が向上した参加者の割合(%)	80	70	87%	
			長寿社会課	—	—	—	県内の元気な高齢者		80			
取組項目 ii iii		3	明るい長寿社会づくり推進機構費	33,007	30,897	3,915	(公財)長崎県すこやか長寿財団が行う、長崎県ねんりんピック事業やアクティブ・エイジングサポート事業等に対する助成を行った。	【活動指標】	12	5	41%	●事業の成果 ・新型コロナウイルスの影響により、主要な大会となる長崎県ねんりんピック交流大会や全国健康福祉祭(ねんりんピック全国大会)等が中止となったことにより、成果指標である参加者数の目標値を達成することができなかった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・コロナ禍でも可能な限り生きがいづくりや健康づくりの機会を提供して高齢者の社会参加・活躍促進に寄与した。
				35,100	32,990	3,895			12	6	50%	
				44,349	42,239	3,841			12			
			H3-									
			長崎県明るい長寿社会づくり推進機構運営事業費等補助金実施要綱					【成果指標】	6,000	659	10%	
			長寿社会課	—	—	—	県内の高齢者	参加者数(人)	6,000	761	12%	
			長寿社会課	—	—	—	県内の高齢者		6,000			
取組項目 iii		4	老人クラブ等育成事業	56,802	28,437	783	単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会が行う、生きがいづくり、健康づくり、地域の支え合い活動等に対する助成を行った。	【活動指標】	1,188	1,154	97%	●事業の成果 ・単位クラブ数・活動参加者数ともに減少したものの、全ての単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会に対し、活動費等の助成を行ったことにより、老人クラブ活動の活性化が図られ、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、介護予防の推進及び社会参加が促進された。 ●事業群の目標達成への寄与 ・老人クラブ活動を通じた高齢者の生きがい作り、健康づくり及び地域の支え合いの促進に寄与した。
				62,170	30,264	779			1,154	1,123	97%	
				62,214	29,941	769			1,123			
			S38-									
			高齢者在宅福祉事業費補助金実施要綱					【成果指標】	58,877	52,811	89%	
			長寿社会課	—	—	—	単位老人クラブ、県・市町老人クラブ連合会(中核市を除く)	老人クラブ活動参加者数(人) ※中核市を除く	52,811	52,178	98%	
			長寿社会課	—	—	—	単位老人クラブ、県・市町老人クラブ連合会(中核市を除く)		52,178			
5		5	高年齢者等雇用安定対策費	8,045	8,045	3,130	長崎県シルバー人材センター連合会への補助金の交付や高年齢者雇用支援のつどいの開催等により、高年齢者等の失業の防止及び再就職の促進等、雇用の安定を図った。	【活動指標】	110	52	47%	●事業の成果 ・高年齢者雇用支援のつどいについて、新型コロナウイルス感染対策のため規模を縮小したことにより、目標を下回る参加者数となっているが、企業に対し、高年齢者雇用に関する普及啓発を一定程度図ることができた。
				8,045	8,045	3,116			110	61	55%	
				8,273	8,273	3,072			110			
			—									
			高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第36条					【成果指標】	100	99.7	99%	
			雇用労働政策課	○	—	—	シルバー人材センター、県内企業	65歳までの継続雇用がある企業の比率(%)	100	99.5	99%	
			雇用労働政策課	○	—	—	シルバー人材センター、県内企業		100			

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

#### i 高齢者が気軽に相談できる窓口を設置し、経験やライフスタイルに応じた社会参加に関する相談支援を実施

##### ●実績の検証及び解決すべき課題

事業の成果である個別相談支援の登録者数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、セミナーを当初予定回数開催できなかったことや、3密回避から定員を絞ったことなどから目標数を達成できなかった。相談者や登録者を増加するためにも、Withコロナの中、いかに多くの高齢者にセミナー等に参加いただき、社会貢献や社会参加の機運を醸成できるかが課題である。

##### ●課題解決に向けた方向性

市町や関係団体とも連携し、高齢者の社会参加等を啓発するセミナーについて、感染対策を講じ、安全・安心に参加できることを周知するとともに、高齢者の興味を引くようなセミナーのテーマや内容を改めて検討する。  
また、県民にとって身近な市町でも高齢者の社会貢献や社会参加に関する相談窓口の機能を担ってもらえるよう働きかけていく。

<p>ii ボランティア活動等で活躍する高齢者の表彰や生活支援等の有償ボランティアの推進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 啓発・表彰事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で、当初想定していた規模でのフォーラムが開催できなかったが、参加された方への効果(意識の向上)は一定図られた。今後は、さらに具体的なボランティア活動につながるよう、市町(生活支援体制整備事業)や関係団体等と連携し、ボランティアの受け皿を確保できるよう取組を進めていく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 新型コロナウイルス感染症の一定の流行下にあっても啓発・表彰事業の実施が大きく阻害されず実施できるよう工夫するとともに、意欲の高まった高齢者と人手が不足している高齢者支援の現場や介護等とのマッチングができるような仕組みを構築していく。</p>
<p>iii 市町を中心に、関係団体とのマッチングにより高齢者を社会参加につなげる仕組みづくり</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 新型コロナウイルス感染症の影響で、市町と連携した高齢者向けセミナーが当初予定回数を下回るとともに、県及び市町が支援する老人クラブの会員数も減少し続けており、社会参加につなげる仕組みづくりの進捗は十分ではない。老人クラブの会員増強を図り、活動を活性化させる必要があるとともに、老人クラブ以外の高齢者関係団体と高齢者活用のマッチングも課題である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 県老連、市町老連及び単位クラブが一体となって会員増強に取り組めるよう支援するとともに、退職者団体等老人クラブ以外の団体と連携した社会参加の仕組み作りの取組を推進する。</p>

#### 4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事業事業名 事業期間 所管課(室)名	令和4年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和4年度の新たな取組は「R4新規」と、見直しが無い場合は「―」と記載	令和5年度事業の実施に向けた方向性		
					事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 iii	○	1	生涯現役促進支援事業 R2- 長寿社会課	高齢者に身近な市町窓口での相談が可能となるよう、市町に働きかけるとともに、市町と連携したセミナー開催について、これまで開催していない市町でも開催する。	②	生涯現役応援センターを積極的に周知するとともに、市町や関係団体とも連携し、高齢者の社会参加等を啓発するセミナーへの参加を促進していく。また、市町における高齢者の社会貢献活動や社会参加の相談やマッチングについて、市町に働きかけしていく。	改善
取組項目 ii	○	2	元気高齢者の活躍促進事業 H30- 長寿社会課	直近2年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な活動ができなかったため、啓発・表彰事業の「いきいきフォーラム」では、高齢者の社会参加・生きがいがづくりの機運を醸成する講演等を実施したうえで生涯現役応援センターの周知を積極的に行い登録促進を図る。	②	高齢者の社会参加の機運を醸成する啓発・表彰事業については、生涯現役応援センターなどの取組と連動する取組としていく。また、意欲の高まった高齢者と人手が不足している高齢者支援の現場とのマッチングができるよう、生涯現役応援センターや市町などの関係機関と連携し、高齢者の社会参加や活動の場の拡大につながる仕組みとしていく。	改善
取組項目 iii		3	明るい長寿社会づくり推進機構費 H3- 長寿社会課	直近2年間は新型コロナウイルス感染症の影響により、ねんりんピックは中止となったため、高齢者に安心して大会に参加していたできるよう、感染対策を徹底し、開催する。	②	シニア競技の普及を目的としたアクティブ・エイジングサポート事業の活動をコロナ禍以前の水準で取り組み、競技人口の拡大を図る。 また、高齢者自らの生きがいや健康づくりを進める活動の選択肢を増やすため、(公財)長崎県すこやか長寿財団と協議のうえ、ねんりんピック県大会の新競技種目の追加を検討する。	改善
取組項目 iii		4	老人クラブ等育成事業 S38- 長寿社会課	老人クラブの新規会員加入促進に向けた取組を具体化するため、県及び市町老人クラブ連合会とともに検討を行う。	②	検討した結果を踏まえ、老人クラブ会員の新規会員加入促進に向け、県及び市町老人クラブ連合会、単位老人クラブと連携し、具体的な取組を実践する。	改善
		5	高齢者等雇用安定対策費 ― 雇用労働政策課	―	⑨	高齢者等の雇用の安定に関する法律(国及び地方公共団体はシルバー人材センターの育成などに努める)に基づき、高齢者の意向に沿った就業機会を確保するため、「県シルバー人材センター連合会」に対し、県が運営費を補助するとともに、環境変化を踏まえた運営ができるよう、国の動向を注視しながら必要な支援を行う。	改善

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

#### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点